愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	地域ビジネス特講Ⅳ		
担当者(Instructors)	上條 憲二	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

地域ビジネスを理解す上で、認知しておかなくてはならない必須要件(国際情勢、政治、経済、技術、社会、歴史など)に関して学ぶ。 講義には、ゲストスピーカーとして愛知県内で活躍されている現役の中小企業の経営者が登場し、経営者の立場から、自社の経営の重点、企業理念(企業が目指していること)、人材育成などについて、本音で語っていただく予定である。地域ビジネスを担っている地元経営者の経営観、人材育成観、就職活動を始める学生に何を望んでいるのか等を「生の声」で知ることができる機会である。(ゲストスピーカー企業は交渉により決定します)

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義 (メディア授業・オンデマンド型授業)

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	講義概要とガイダンス	この講義の目的と概要について説明する。	□
第2回	会社とは何か	中小企業についての基礎的資料の解説と愛知中小企業家同友会についての基礎的知識の説明します。	□
第3回	地域ビジネスと政治環境	政治環境が地域ビジネスにどのように影響するかを考える。	□
第4回	地域ビジネスと政治環境	政治環境が地域ビジネスにどのように影響するかを考える。	□
第5回	地域ビジネスと国際環境	国際環境が地域ビジネスにどのように影響するかを考える。	□
第6回	地域ビジネスと国際環境	国際環境が地域ビジネスにどのように影響するかを考える。	□
第7回	地域ビジネスと社会環境	社会環境が地域ビジネスにどのように影響するかを考える。	□
第8回	地域ビジネスと社会環境	社会環境が地域ビジネスにどのように影響するかを考える。	□
第9回	地域ビジネスと技術環境	技術環境が地域ビジネスにどのように影響するかを考える。	□
第10回	地域ビジネスと技術環境	技術環境が地域ビジネスにどのように影響するかを考える。	□
第11回	ゲストスピーカーによる講義	ゲストスピーカー講義	□
第12回	ゲストスピーカーによる講義	ゲストスピーカー講義	□
第13回	ゲストスピーカーによる講義	ゲストスピーカー講義	□
第14回	ゲストスピーカーによる講義	ゲストスピーカー講義	□
第15回	まとめ　地域ビジネスにとって必要なことは何か	講義全体を通じて、地域ビジネスを取り巻く様々な環境についての理解を深める。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

日々の新聞の一面及び経済欄・経営者が登場する欄をよく読むようにしよう（2時間程度）。ゲストスピーカーの講義を聴き、企業の特徴をまとめよう（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

それぞれの講義で、各自の理解度を把握し、適宜、フィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)

主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	地域が抱える問題、さらに社会が抱える問題点・課題を認識することができ、社会貢献の視点に立ち、自らその解決策の立案および実践をすることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「地域ビジネスを取り巻く環境」について自分の考えをまとめ、レポートする(2500文字)。毎回必ず一定の条件(文字数など)のもとで「課題」もしくは「質問」を提示する。それらの課題、質問に対する回答をもって、「出席」認定する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	20歳の自分に教えたい　現代史のきほん	978-4-8156-1524-6
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業の中で紹介します。	
2		
3		
4		
5		